

## 平成30年度 決算

### 健康保険 | 前期高齢者納付金の増大により5年ぶりに経常赤字

平成30年度は、被保険者数、平均標準報酬月額、総標準賞与額が増加したことにより保険料収入は前年度と比べ約8,800万円増収となりました。しかし支出では、平成28年度の前期高齢者(65歳~74歳)にかかる医療費が増加したことにより、平成30年度の前期高齢者納付金は前年度の倍以上となり約7億円も増大したため、経常収支は約1億7千万円の赤字となりました。

高齢者にかかる医療費の増加は納付金の増加につながりますので、今後も健保財政を維持するため、皆様には当健保が実施する保健事業を積極的にご利用いただき、今まで以上に健康の保持・増進に努めていただくとともに、必要のないはしご受診や休日・時間外受診及び過剰服薬の自制、ジェネリック医薬品の利用など、医療費の削減にご協力をお願いいたします。

#### 経常赤字 約1億7,256万5千円

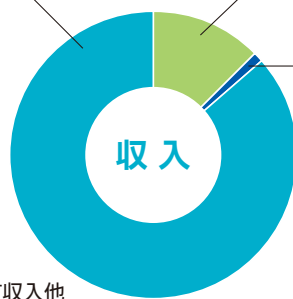
- 収入総額…41億3,341万3千円
- 経常収入…36億1,509万6千円

平成30年度 DATA	
平均被保険者数	7,932人(前年度比165人増)
平均標準報酬月額	31万5,440円(前年度比967円増)
総標準賞与額	65億3,016万8千円(前年度比1億7,321万9千円増)

#### 健康保険収入…36億77万円

皆様からの保険料による収入

- 保険料…35億9,968万1千円
- 国庫負担金収入…108万9千円



#### 経常外収入…5億1,831万7千円

- 調整保険料収入…4,744万8千円
- 別途積立金繰入…3億円
- 財政調整事業交付金…4,018万4千円
- 高齢者医療支援金等負担金助成事業費…1億3,068万5千円

#### 補助金及び利子収入他 1,432万6千円

特定健診・特定保健指導の実施に対する国からの補助金、健康保険組合の積立金の運用益等

■健康保険収入 ■経常外収入 ■補助金及び利子収入他

収支差引額 ……2億9,836万1千円

経常収支差引額 ……▲1億7,256万5千円

#### ●決算残金処分内訳

- 翌年度への財政調整事業繰越金…5万7千円
- 別途積立金…2億9,830万4千円

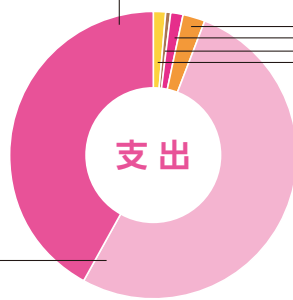
#### ●支出総額…38億3,505万2千円

#### ●経常支出…37億8,766万1千円

#### 納付金…20億1,686万4千円

高齢者医療を支えるための負担金

- 前期高齢者納付金…12億6,631万7千円
- 後期高齢者支援金…7億4,321万6千円
- 退職者給付拠出金…732万7千円
- 病床転換支援金…4千円



#### 保険給付費…16億2,023万3千円

皆様の医療費や手当金等

#### 保健事業費…8,796万8千円

健康づくりを支援するための事業費

#### 事務費…5,902万1千円

健康保険組合の運営費用

#### 連合会費他…357万5千円

健康保険組合連合会への会費等

#### 経常外支出…4,739万1千円

財政調整事業拠出金…4,739万1千円

■保険給付費 ■納付金 ■保健事業費 ■事務費 ■連合会費他 ■経常外支出

### 介護保険

#### 収入

介護保険収入	4億5,338万7千円
繰入金	1,200万円
国庫補助金受入	648万4千円
雑収入	1千円
合計	4億7,187万2千円

#### 支出

介護納付金	4億7,171万1千円
合計	4億7,171万1千円

収支差引額 16万1千円

決算残金は準備金に積み立てました

#### 平成30年度 DATA

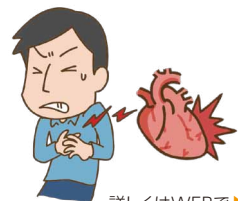
40~64歳の平均被保険者数	5,370人(前年度比6人減)
平均標準報酬月額	34万7,647円(前年度比4,891円増)
総標準賞与額	52億4,624万8千円(前年度比1億5,147万7千円増)

### 血圧が高い、中性脂肪値が高い、喫煙習慣がある方は

監修：大阪成蹊大学教育学部教授 岡田邦夫

## 心筋梗塞と狭心症の予防を

日本人の死因第2位は心臓病です。その代表である心筋梗塞と狭心症の発症は、以前は60歳以降が中心でしたが、近年では40歳前後で発症する人も増えています。高血圧、中性脂肪高値などの脂質異常症や喫煙は、心筋梗塞、狭心症の3大危険因子です。これらの因子がある方は今すぐ生活習慣を見直して、心筋梗塞や狭心症を予防しましょう。



詳しくはWEBで▶

